

高畠高生の活躍

12月14日(土)に山形国際交流プラザで「やまがた幸せサミット」が開催され、本校の「総合的な探究の時間」で高畠町・高畠高校の魅力発信を研究する通称「高畠ゼミ」のグループが研究発表を行いました。写真は、その時の様子です。

「やまがた幸せサミット」が14日、山形市の山形国際交流プラザで開かれ、県内の高校生が地域の課題解決

や魅力の掘り起こしを図るアイデアを発表した。「『山形の未来創造』高校生アイデアコンテスト」

高校生がアイデア発表

山形でサミット 地域課題を解決



高校生が地域の課題解決や魅力発信につながるアイデアを発表した「やまがた幸せサミット」＝山形市・山形国際交流プラザ

と銘打って参加者を募り、応募のあった45チームのうち1次審査を通過した11チームが発表した。

県産フルーツを生かした魅力発信をテーマに据えた生徒は「県外ではサクランボ以外の知名度が低い」と指摘した。県内外で物産展や食べ放題イベントを開催するアイデアを出し、継続して本県に訪れてもらう工夫が必要とした。

高齢者が児童に郷土料理の作り方を教える「うまいもんプロジェクト」を提案したチームは、食文化の伝承や世代間の交流機会創出

によって、地域の魅力発信につながるかと説いた。耕作放棄地でのカリフラワー栽培、廃材を利用した木工教室開催など、SDGs(持続可能な開発目標)を意識した発表も目立った。

サミットは県が企画し2回目。コンテストに続き画家・壁画師の小林舞香さん、ANA庄内ブルーアンバサダーの佐藤菜々子さん、山形県住みます芸人のソラシドが「私が山形を選んだのは…」と題してトークを展開した。(吉村瑛人)